

# KENWOOD

CD プレーヤー

## DPF-3010

---

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

## 2 本機の特徴

## 音質と安定性を追求した先進技術の搭載

- 微小レベルでのひずみを飛躍的に改善する D.R.I.V.E. (Dynamic Resolution Intensive Vector Enhancement) IC を搭載。  
ダイナミック レゾリューション インテンシブ ベクター エンハンスメント
- 20ビット分解能を高性能で実現する 1ビット D/A コンバーターの採用。

## CDをテープにダビングするときに便利な機能を搭載

- ひずみの少ない録音レベルを決めることができる CD ピークサーチ。
- テープの時間によって、音楽が途切れないよう組合せができるエディット機能。
- オートスペース機能。

## イージーオペレーション

- システムコントロール接続によって他機種との動作が可能になるイージーオペレーション機能。
- CDプレーヤーのほとんどの操作が手元でできるリモートコントロール。

## 目次

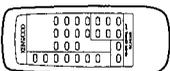
▲ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

▲ 安全上のご注意	3	繰り返し聴く (リピート再生)	16
知っておきましょう	7	選んだ曲だけを繰り返すには	16
接続のしかた	8	ディスク全体を繰り返すには	17
各部のなまえと働き	10	編集のしかた	18
リモコンの使いかた	11	編集した内容を確認する	19
CDを聴く (TRACKモード)	12	編集した内容を取り消す	19
1曲目から順に聴く	12	ピークサーチとは	19
OUTPUT端子とヘッドホン端子の出力レベル調整について	13	順番にこだわらずに聴く (ランダム再生)	20
曲順を自由にプログラムする (PGMモード)	14	タイマー再生のしかた	21
プログラムの確認や、変更するには	15	故障と思われる症状ですが・・・	22
曲を追加するには	15	定格	23
プログラムした曲を取り消すには	15	保証とアフターサービス	24

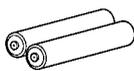
## 付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

リモートコントロール  
ユニット(1個)



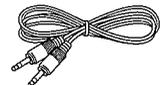
リモコン用単3乾電池(2個)



オーディオコード(1個)



システムコントロールコード(1本)



製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。  
(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様、または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 指定以外の電圧では使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。  
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



### 電源コードの取扱い

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。



使用禁止

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》



●修理をご依頼ください。

### 放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
  - 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
  - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
- 《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》

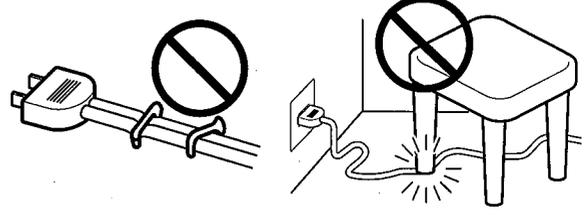


### 電源コードの配線に注意

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。



- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
  - 敷物の下に電源コードを隠さない。
  - 電源コードをステープルや釘などで固定しない。
  - 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
- 《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



### 風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。  
《火災や感電の危険があります》



風呂、シャワー室での使用禁止



### 異常かな？と思ったら

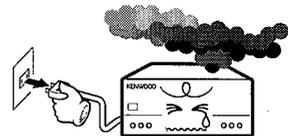
煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け

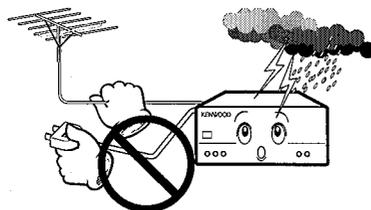


### 雷が鳴り始めたら

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。  
《感電の危険があります》



接触禁止



### 乾電池は充電しない

《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》





水ぬれ  
禁止

### 機器の内部に異物や水を入れない

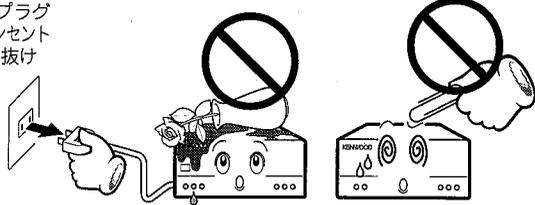
内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグ  
をコンセント  
から抜け



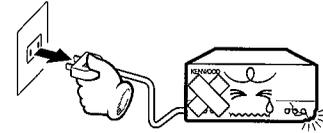
電源プラグ  
をコンセント  
から抜け

### 落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



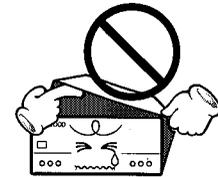
分解禁止

### ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。

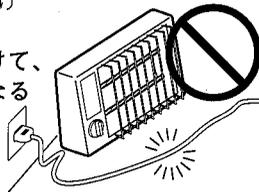


# 注意

### 電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



### 指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。

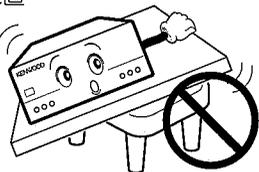
《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》

- 指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。

### 不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

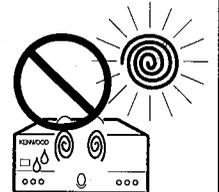
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



### 温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

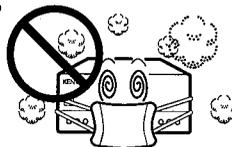


水ぬれ  
禁止

### 湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



電源プラグ  
をコンセント  
から抜け

### 長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

### 音量に気をつけて



はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

### お手入れの際は



電源プラグをコンセントから抜け



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したままでの作業は、感電の原因になることがあります》

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。

《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

### お子様にご注意

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。

《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



指をはさまれないよう注意

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。

《けがの原因になることがあります》

電池はお子様の手が届かないところに置いてください。

《電池を飲み込むおそれがあります》



### 電池の取扱い



電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。次のことを、必ず守ってください。

●極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。



### 電源プラグの抜き差しは



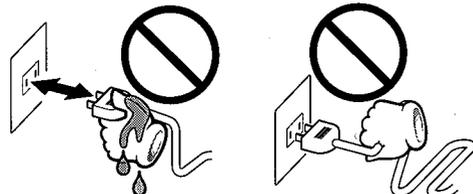
ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

《感電の原因になることがあります》

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。

《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



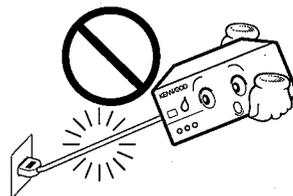
### 機器を移動させる際は



電源プラグをコンセントから抜け

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》



### 電源プラグは清潔に



1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。

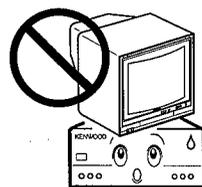
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



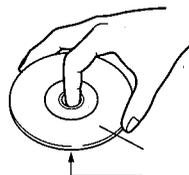
### 指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物体を乗せないでください。

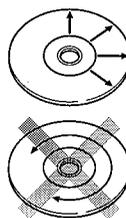
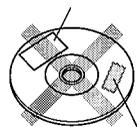
《乗せた物体の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物体の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



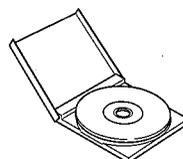
## ディスク取扱上のご注意



**取り扱い**  
再生面にふれないように持ってください。  
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

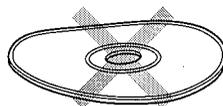
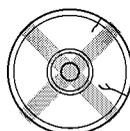


**お手入れ**  
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



**保存**  
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

## 異常なディスクは使用しない



再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

## レンタルCD、中古CDの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があります、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

## 本機で使用できるディスクについて

CD (12cm, 8cm), およびCDVと CD - G (CDグラフィックス)の音声部分が再生できます。

## CDアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

## セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

### 接点復活剤について

接点復活剤は故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形、破損させることがあります。

## 結露にご注意

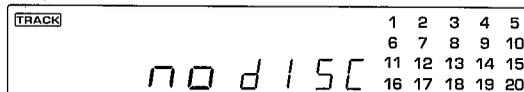
本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。  
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

## 輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行って下さい。

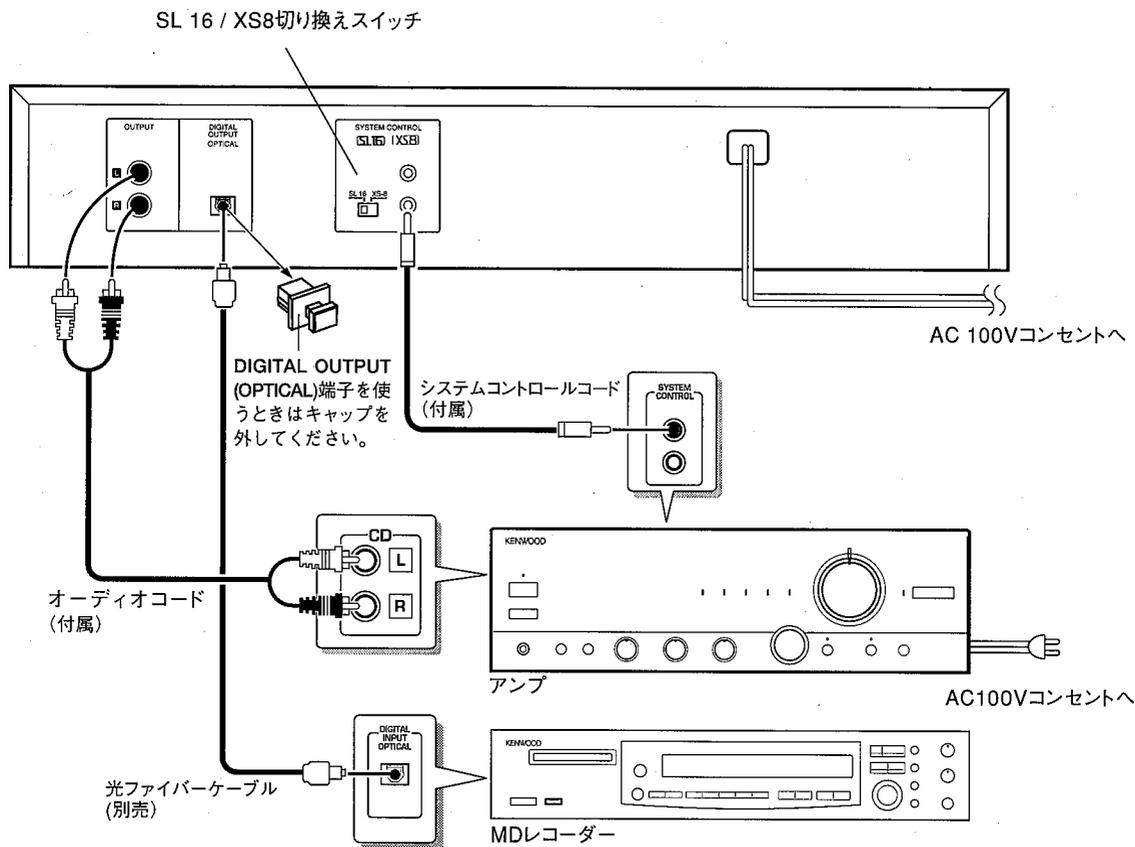
1. ディスクを入れないで電源をONにします。
2. ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. 数秒待って、電源をOFFにします。



**注意** 接続をするときは、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。機器の接続をするときは下図のように行ってください。

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

**マイコンの誤動作について**  
 正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障と思われる症状ですが...」を参照してマイコンをリセットしてください。



- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音がでなくなったり、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずして接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

## 光ファイバーケーブルの接続について

MDLコーダー(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

- 光ファイバーはまっすぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。



## システムコントロール接続

ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。

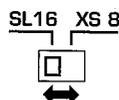
ケンウッドのシステムコントロールは、2種類のモードがあります。下記の端子記号の組み合わせ例に従って接続してください。

[XS 8] のモード : [XR], [XS], [XS 8]の組み合わせができます。

[SL16] のモード : [SL16]のみの組み合わせです。

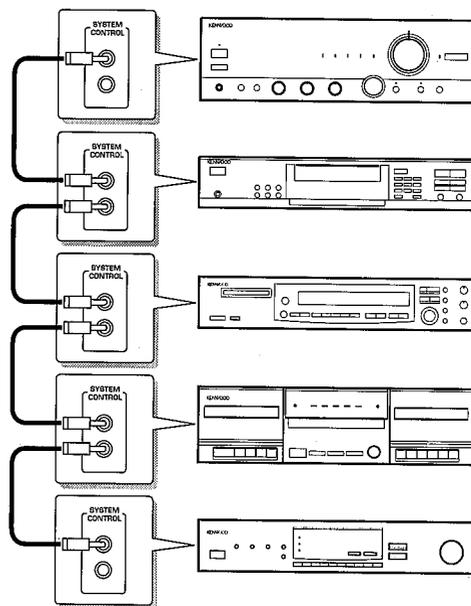
本機は [XS 8] と、[SL16] の両方に対応しています。

- システムコントロール接続する機種が全て [XS 8] のモードに設定されている場合、背面のSYSTEM CONTROL切り換えスイッチをXS 8側に切り換えて接続してください。
- システムコントロール接続する機種が全て [SL 16] のモードに設定されている場合、背面のSYSTEM CONTROL切り換えスイッチをSL 16側に切り換えて接続してください。

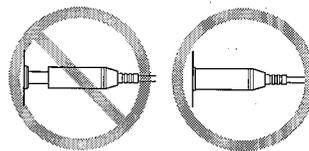


背面の SYSTEM CONTROL  
切り換えスイッチ

システムコントロールの[XS8]または[SL16]のモードの切り換えは、ACコンセントを抜いて、すべての接続を完了してから行ってください。



1. [SL 16]と[XR], [XS], [XS 8]等とのシステム動作の組み合わせはできません。もし、このような組み合わせであった場合は、システムコントロールコードは接続しないでください。システムコントロールコードを接続しなくても、通常の性能、操作性が損なわれることはありません。
2. アンプ、レシーバーにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にもなにも接続しないでください。
3. 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
4. システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。



## システムコントロール動作について

### リモートコントロール

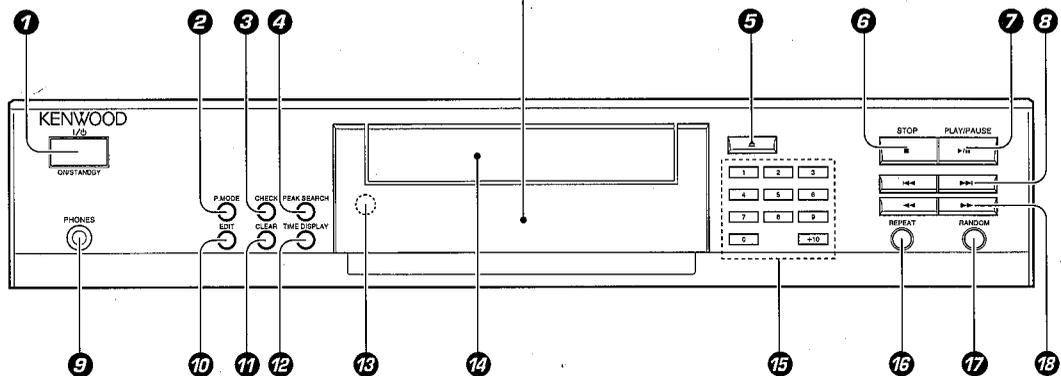
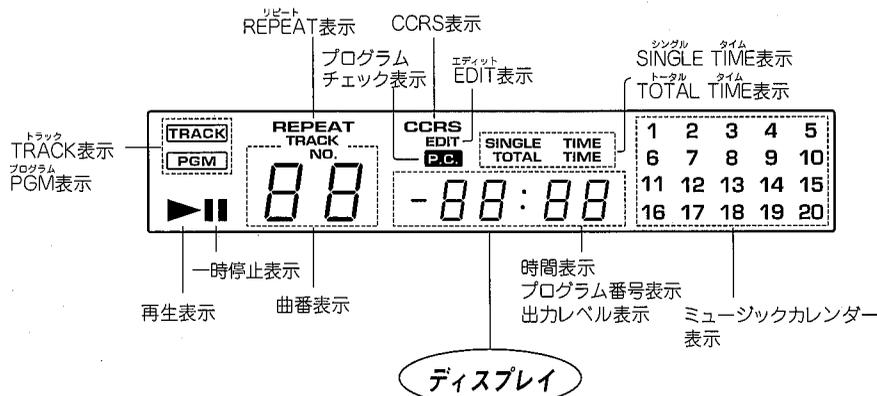
アンプまたはレシーバーに付属しているシステムリモコンで、本機を操作することができます。

### イーザーオペレーション ( [XR] の表示記号のある機器と接続した場合を除く )

本機の再生を始めると、アンプまたはレシーバーの入力切替が自動的に切り換わります。

### シンクロ録音 ( [XR] の表示記号のある機器と接続した場合を除く )

CDを録音するときに、プレーヤーの再生を始めると、連動して録音をスタートすることができます。

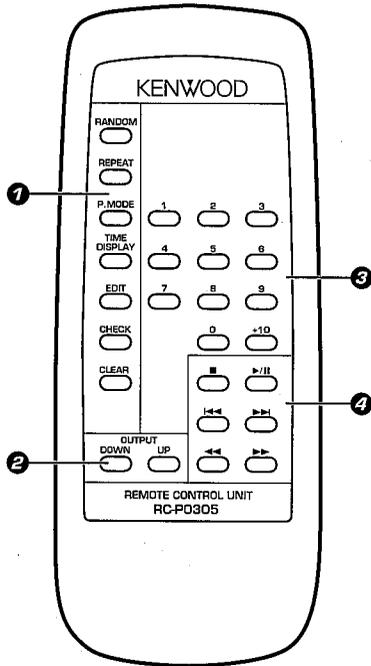


本体と同じ名前や、記号の付いているリモコンキーは本体と同じ働きをします。

- |  |           |  |           |
|--|-----------|--|-----------|
| ① <b>ON/STANDBY</b> (1/0) キー<br>電源をON/OFFします           | - 12      | ⑭ <b>CLEAR</b> キー<br>プログラム内容を消去するときに使います。      | - 15 - 19 |
| ② <b>P.MODE</b> キー<br>曲のプログラム再生をするときに使います。             | - 14      | ⑮ <b>TIME DISPLAY</b> キー<br>時間表示を切り換えるときに押します。 | - 13      |
| ③ <b>CHECK</b> キー<br>プログラムの確認をするときに押します。               | - 15 - 19 | ⑯ <b>リモコン受光部</b>                               | - 11      |
| ④ <b>PEAK SEARCH</b> キー<br>CDの最大録音レベルを検出します。           | - 19      | ⑰ <b>CDトレイ</b><br>CDをセットします。                   | - 12      |
| ⑤ <b>▲</b> キー (取り出しキー)                                 | - 12      | ⑱ <b>数字キー</b><br>直接数字キーで曲を選ぶときに押します。           | - 12      |
| ⑥ <b>STOP</b> (■) キー                                   | - 12      | ⑲ <b>REPEAT</b> キー<br>繰り返し再生をするときに押します。        | - 16      |
| ⑦ <b>PLAY/PAUSE</b> (▶/  ) キー<br>押すごとに再生と一時停止が切り換わります。 | - 12      | ⑳ <b>RANDOM</b> キー<br>曲を順不同に再生するときに押します。       | - 20      |
| ⑧ <b>◀◀▶▶</b> キー (スキップキー)                              | - 13      | ㉑ <b>◀◀▶▶</b> キー (サーチキー)<br>早送り、早戻しするときに押します。  | - 13      |
| ⑨ <b>PHONES</b> ジャック<br>ヘッドホーンを接続します。                  | - 13      |  |           |
| ⑩ <b>EDIT</b> キー<br>エディット録音をするときに使います。                 | - 18      |  |           |

# リモコンの使いかた

DPF-3010 (J)



各操作キーは、本体と同じ働きをします。  
\*印の付いたキーは、リモコンのみの機能です。

<p>① プログラム関係その他のキー</p> <p>RANDOM キー → 20</p> <p>REPEAT キー → 16</p> <p>P.MODE キー → 14</p> <p>TIME DISPLAY キー → 13</p> <p>EDIT キー → 18</p> <p>CHECK キー → 15 → 19</p> <p>CLEAR キー → 15 → 19</p>	<p>*② OUTPUT (DOWN、UP) キー → 13</p> <p>③ 数字キー (1~0、+10) → 12</p> <p>④ 基本機能キー</p> <p>スキップキー (⏮、⏭) → 13</p> <p>サーチキー (⏪、⏩) → 13</p> <p>停止キー (■) → 12</p> <p>再生/一時停止キー (▶  ) → 12</p>
--	---

型名：RC-P0305  
赤外線方式

## 電池の入れかた

① ふたを開ける

② 電池を入れる

③ ふたを閉める

● 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークにしたがって入れる。

## 操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の<sup>オン</sup>ON/<sup>スタンバイ</sup>STANDBY (I/⏻) スイッチを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

● リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

1. 付属の乾電池は、動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

# トラック CDを聴く (TRACKモード)

CDを1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

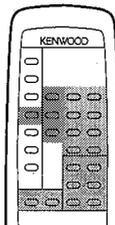
DPF-3010 (J)

12

## 準備 電源をONにする



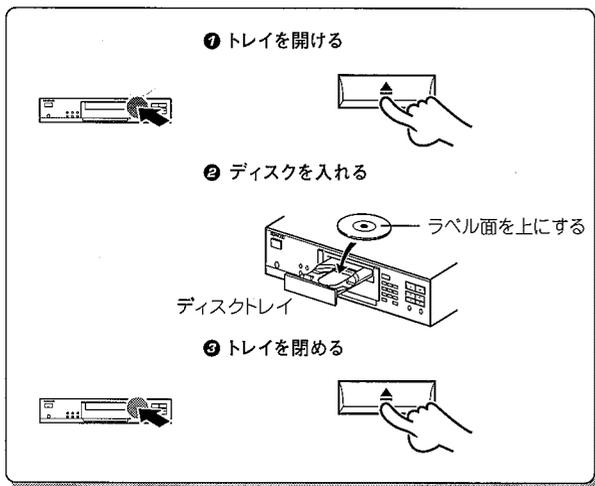
- ディスクが入っているときに、電源をONにすると自動的に再生が始まります。



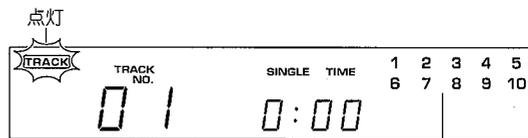
■ : 使用するキー、または、つまみなどを示します。

## 1曲目から順に聴く

### 1 ディスクを入れる

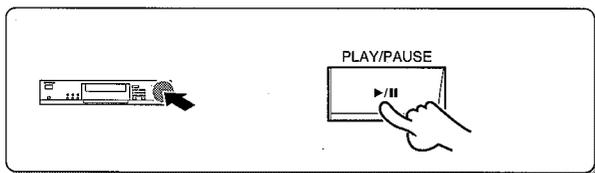


- 再生面には触れないようにします。
- ディスクは必ず1枚だけ入れます。
- ディスクはトレイの溝に合わせて、正しく置いてください。  
(ディスクを斜めに置くと故障の原因になります。)
- シングルCD (8cm) にも対応しています。
- 市販のシングルCD (8cm) ディスクアダプターは、本機では使用できません。



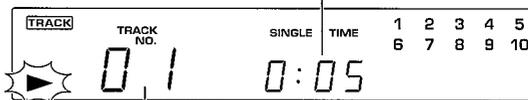
収録されている曲数を表示します。

### 2 再生をする



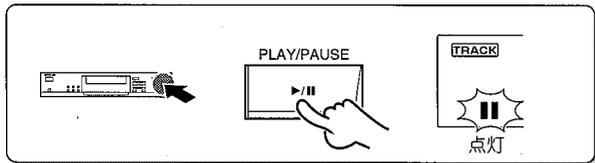
- 数秒後に、1曲目から再生します。

再生中の曲の経過時間



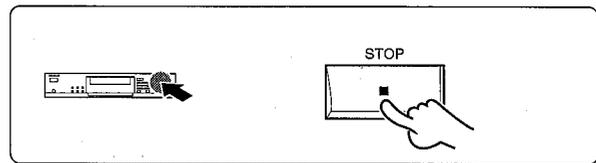
再生中の曲番号

### 一時停止するには

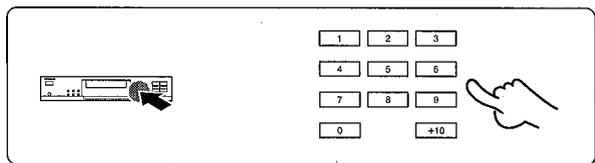


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

### 再生を止めるには



### 聴きたい曲番から再生する



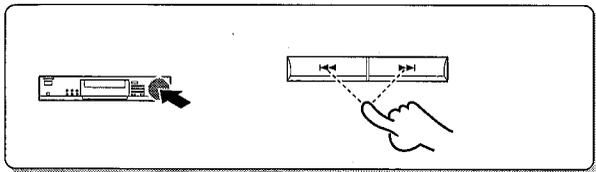
数字キーを押す順序は...

23曲目なら: [+10] [+10] [3]

40曲目なら: [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

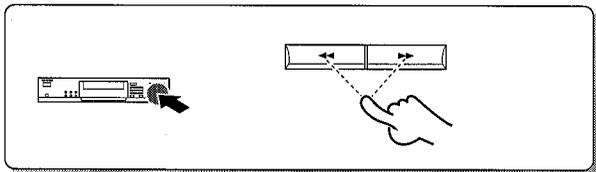
- 選んだ曲以降を再生します。

## 曲を飛び越すには(スキップ)



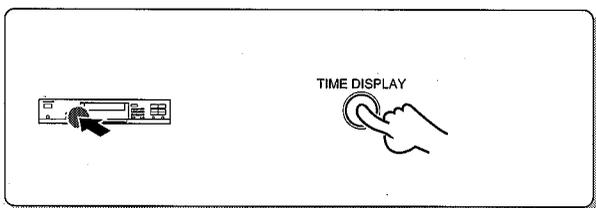
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、再生している曲の始めに戻り、もう一度同じ曲を聴くことができます。

## 早送り・早戻しするには(サーチ)



- 手を離れたところから、再生します。

## CD プレーヤーの時間表示について



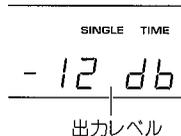
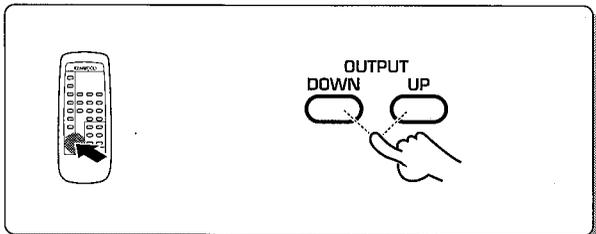
- |   |                                     |              |
|---|-------------------------------------|--------------|
| ① | <small>SINGLE TIME</small><br>1:23  | :再生中の曲の経過時間  |
| ② | <small>SINGLE TIME</small><br>-2:37 | :再生中の曲の残り時間  |
| ③ | <small>TOTAL TIME</small><br>23:45  | :ディスク全体の経過時間 |
| ④ | <small>TOTAL TIME</small><br>-36:15 | :ディスク全体の残り時間 |

- ランダム RANDOMモードと、エディット EDITモードのときは、①と②のみ、表示します。

### アウトプット

## OUTPUT端子とヘッドホン端子の出力レベル調整について

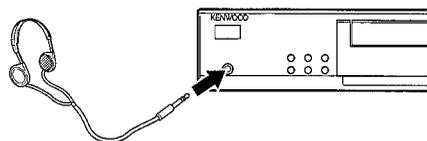
リモコンのOUTPUT (UP/DOWN) キーで本体のOUTPUT端子の出力と、ホンズ PHONES端子(ヘッドホン端子)の出力レベルを調整することができます。



- 本機の出力レベル下げすぎないように注意してください。本機の出力レベルは他の機器とのレベル合わせに使用すると便利です。
- ヘッドホンレベルを調整すると、OUTPUT端子の出力レベルも同時に変化します。録音中はレベルを調整しないでください。
- 電源を入れたときは、出力レベルが最大になっていますので、ご注意ください。

## ヘッドホンの使いかた

別売のヘッドホンをPHONES端子に差し込み、リモコンのOUTPUT (UP/DOWN) キーで、お好みの音量に調節してお聴きください。



# プログラム 曲順を自由にプログラムする (PGMモード)

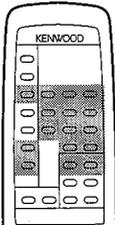
DPF-3010 (J)

好きな曲を好きな曲順にプログラムして聴くことができます。  
(最大20曲)

14

準備

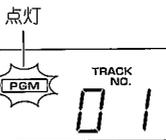
- CDプレーヤーにディスクを入れる。  
- 12



■: 使用するキー、または、つまみなどを示します。

## 1 プログラム “PGM”表示を点灯させる

停止中に操作します。



## 2 好みの曲をプログラムする

### ① 聴きたい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は...

25曲目なら: [+10] [+10] [5]



5秒以内に次の操作をしてください。

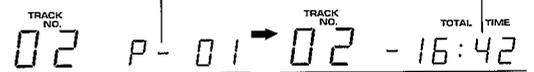
### ② プログラムを記憶させる



③ 上の①、②を繰り返しプログラムする。

選んだプログラム番号を数秒間表示

選んだ曲の合計時間の表示



- 20曲まで選べます。“FULL”と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、<sup>クリア</sup>CLEARキーを押してから選びなおします。
- プログラムした内容が100分を越えると、ディスク全体の残り時間を表示しません。

## 3 再生する



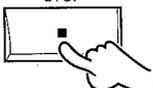
PLAY/PAUSE



## 再生を止めるには



STOP



- 再生中に◀◀または▶▶キーを押すと、プログラムした順序で、押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、再生している曲の始めに戻り、もう一度同じ曲を聴くことができます。

- プログラムの内容は保持されています。

### オートスペース機能について

カセットデッキを再生するときに便利な機能です。CDのプログラム中、曲間に数秒間の無音部分が作られます。この状態でカセットデッキに録音すれば、DPSS機能(無音部分を自動的に探す機能)を使って、テープの頭出しや、リピート再生などが確実に行えます。

- 前の曲と次の曲の演奏がつながっている場合(クラシックやライブ録音など)でも、別々の曲番号がついていれば無音部分が作られます。

### プログラムの確認や、変更をするには

① CHECKキーを押す。  
CHECK



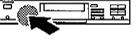
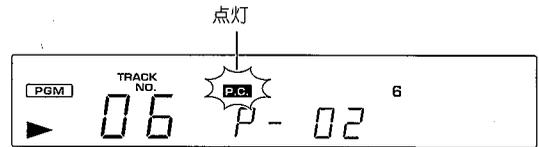
変更したい曲番が表示されるまで繰り返し押します。

② 新しい曲番を選ぶ。  
数字キーを押す順序は...  
25曲目なら: [+10] [+10] [5]



1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	+10	

③ プログラムに入力する。  
P.MODE

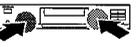



- ①の操作だけをする、プログラム内容の確認をすることができます。
- 押すたびに、プログラムした曲順(P-NO)と、曲番を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。

- "P.C."表示の点灯中に押してください。
- 再生中の曲は変更できません。

### 曲を追加するには

① 追加したい曲番を選ぶ。



1	2	3
4	5	6
7	8	9
0	+10	

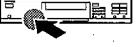
② P.MODEキーを押す。  
プログラムモード



- 追加したい曲番を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。

### プログラムした曲を取り消すには

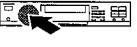
最後の曲から順番に消していくとき



CLEAR

---

全部消すとき



P.MODE

- キーを押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- 再生中の曲と、それより前にプログラムされた曲は取り消せません。

- プログラムの内容が全て消えます。
- ▲キーを押してもプログラムの内容が全て消えます。

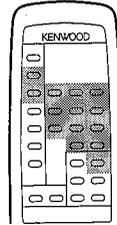
# 繰り返し聴く (リピート再生)

DPF-3010 (J)

16

準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。



■ : 使用するキー、または、つまみなどを示します。

## 選んだ曲だけを繰り返すには

- ① プログラムモード  
"P.MODE"表示を点灯させる

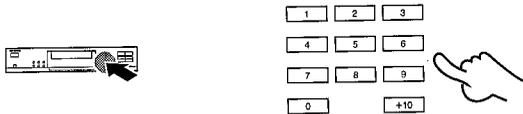


停止中に操作します。

- ② 好きな曲を選ぶ

数字キーを押す順序は...

25曲目なら: [+10] [+10] [5]



5秒以内に次の操作をしてください。

- ③ プログラムモードに入力する

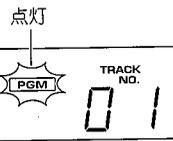


- ④ 上の②と③の操作を繰り返し入力する。

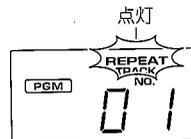
- ⑤ リピート  
REPEATキーを押す



- ⑥ 再生する

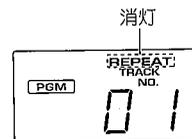


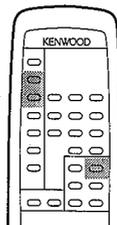
- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。
- 20曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。



## 繰り返し再生をやめるには

もう一度リピート  
REPEATキーを押す





■:使用するキー、または、つまみなどを示します。

### ディスク全体を繰り返すには

① <sup>トラック</sup>"TRACK"表示を点灯させる

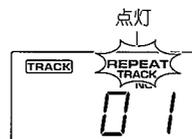
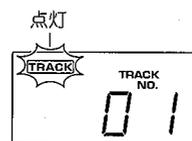



② <sup>リピート</sup> REPEATキーを押す




③ 再生する

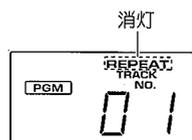




### 繰り返し再生をやめるには

① <sup>リピート</sup> もう一度REPEATキーを押す





# 編集のしかた

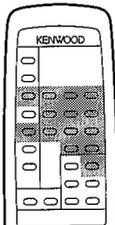
DPF-3010 (J)

テープの録音時間を指定すると、テープの折り返し終端で曲がとぎれないように、自動的に曲順を入れ換えて編集します。

18

## 準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。



■:使用するキー、または、つまみなどを示します。

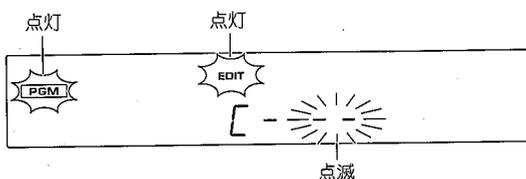
## エディット

### 1 "EDIT"表示を点灯させる

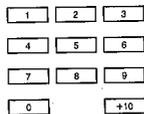
停止中に操作します。



5秒以内に次の操作をします。  
5秒以上経過したときは、もう一度キーを押してください。



### 2 テープの長さをセットする



数字キーを押す順序は...

30分テープなら : **+10** **+10** **+10** **0**

46分テープなら : **+10** **+10** **+10** **+10** **6**

- 分単位 (2桁) で99分以内の設定ができます。
- ご使用のテープと異なった設定をしますと、編集はされますが、テープに無録音部分ができたり、A面またはB面の最後の曲がとぎれたりすることがあります。

## 編集は次のように行われます

- (1) 設定時間が二つに分割され、まずAファイル(テープA面用)に収まるよう曲番の小さい順に曲が選択されます。
- (2) 数秒後、Aの残り時間が表示され、続いてBファイル(テープB面用)が同じように編集されます。

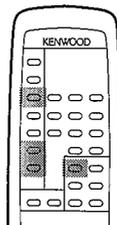
- ディスクに1曲しか収録されていないものや、クラシックなど、1つの曲番で再生時間の長いものは、編集が正しく行われません。

## 編集した内容を再生、または録音するには

▶/IIキーを押すと編集した内容に従って再生し、編集したB面の頭で一時停止します。続けて再生するときは、再度▶/IIキーを押します。

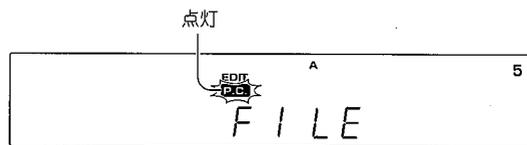
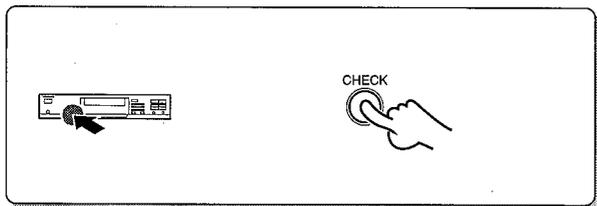
カセットデッキに録音するときは、ケンウッドのカセットデッキのシンクロ録音、CCRS録音などが便利です。

- 録音中は本機の出カレベル(OUTPUT UP/DOWNキー)を変えないようにご注意ください。
- 詳しくは、カセットデッキの取扱説明書をお読みください。



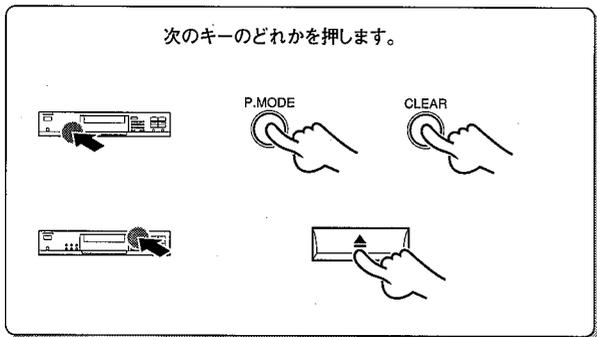
■:使用するキー、または、つまみなどを示します。

## 編集した内容を確認する



- チェック CHECKキーを押すと、編集された曲番が順に表示されます。
- "P.C."表示は数秒後に消灯します。

## 編集した内容を取り消す

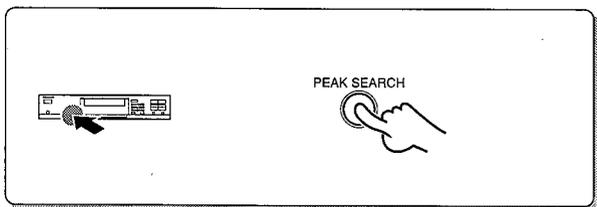


- 編集内容のすべてが消えます。

## ピークサーチとは

この機能は、カセットデッキにCDの音楽ソースを録音するまえに、CDに収録されたピークレベル(最大レベル)を知ることができる機能です。本機では、CDに収録された各曲のピークレベルを検索したあと、最大のピークレベルを含む音楽の一節を繰り返し再生しますので、カセットデッキの録音レベルを簡単に合わせることができます。

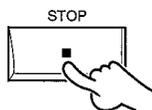
(ピークサーチ機能のあるカセットデッキとは、ピークサーチ録音はできません。)



- ピークサーチ PEAK SEARCH キーを押すと、高速で全曲を検索した後、通常速度でピークレベルを繰り返します。
- ピークレベルの検索は、曲の最大レベルがある付近をサンプリングしていますが、瞬時の最大値を検出できないことがあります。CDを録音するとき、検出されたピークレベルに対して、少し余裕をもたせた録音レベルを設定してください。

## ピークサーチの解除

■キーを押す



# 順番にこだわらずに聴く (ランダム再生)

DPF-3010 (J)

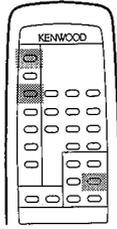
毎回曲がランダムに(無作為に)選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

20

## 準備

- CDプレーヤーにディスクを入れる。

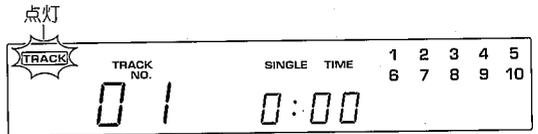
-12



:使用するキー、または、つまみなどを示します。

## 1 <sup>トラック</sup>"TRACK"表示を点灯させる

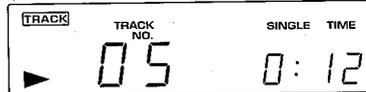
プログラム  
"PGM"表示が点灯している場合は、プログラムモード  
トラック  
キーを押して"TRCK"表示に切り換えます。



## 2 <sup>ランダム</sup>RANDOMキーを押す

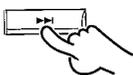
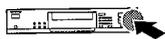


曲番5が選ばれたとき



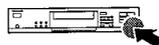
- 1曲終わると次々に曲を選び再生していきます。
- ディスクの全曲の再生が1回終わると、停止します。
- あらかじめ<sup>リピート</sup>REPEATキーを押しておく、ランダム再生は繰り返されます。

## 曲の途中で別の曲を選ぶには



- ◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の始めに戻ります。

## ランダム再生をやめるには



RANDOM



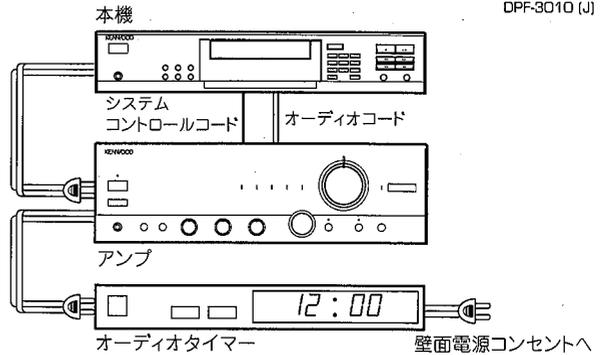
- <sup>ランダム</sup>RANDOMキーを押すと再生中の曲から、曲番順の再生に戻ります。

# タイマー再生のしかた

市販のオーディオタイマーを利用して、お好きな時刻にタイマー再生をすることができます。

## 準備

- 各機器の電源コードは、タイマーを通して電源が入るように接続します。
- 使用するタイマーの取扱説明書をよくお読みください。

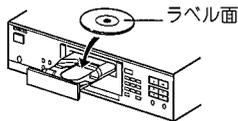


## 1 各機器の電源を<sup>オン</sup>にする

## 2 準備をする

CDプレーヤーにディスクを入れる

→ 12



## 3 アンプの音量を決める

① CDを再生する



② アンプの音量を調節する

③ ディスクを停止する



## 4 タイマー時刻を設定する

希望の時刻に本機の電源が入るようにタイマーを設定する。

## 5 オーディオタイマーで電源を切る

- システムコントロール接続をしていないときは、アンプの入力切り換えを"CD"に合わせます。

### 音量調節について:

本機の出カレベルをリモコンのUPキーで最大(0dB)にして、アンプの音量調節つまみ (VOLUME CONTROL) で好みの音量に設定します。(本機の出カレベルをリモコンで絞ってあっても、電源が入ると、最大に戻るため、電源が入ったとき急に大きな音がでる場合があります。)

- タイマーの種類によっては、タイマー時刻を設定すると電源の切れる機種があります。そのようなときは手順⑤を省略します。

- 設定した時刻がくると自動的にディスクの再生が始まります。
- タイマーをセットしてあるときは、アンプや、CDプレーヤーのPOWERスイッチ (ON/STANDBYスイッチ) には触れないでください。

- 1. 一部のアンプには、タイマー再生に対応していないものがあります。あらかじめ動作を確認してください。
- 2. タイマーを用いてCDを再生するとき以外は、CDプレーヤーからディスクを取り出しておいてください。

# 故障と思われる症状ですが . . . .

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

DPF-3D10 (J)

## マイコンをリセットするには

電源がONのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の手順をお試しください。  
 ● マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

オン      スタンバイ      オフ  
**ON/STANDBY**スイッチをOFFにして、数秒後に改めて、ONにします。

## CDプレーヤー部

症 状	原 因	処 理
ON/STANDBYスイッチをONにしても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグのさし込みが不完全。</li> <li>● アンプの連動電源コンセントに本機の電源プラグが差し込まれており、アンプの電源が切られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直す。</li> <li>● アンプの電源を入れる。</li> </ul>
ディスクを入れても再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>● ディスクがずれている。</li> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> <li>● 光学レンズに露がついている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>● ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 </li> <li>● ディスクを取り換える。</li> <li>● "結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 </li> </ul>
音がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生状態になっていない。</li> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> <li>● 接続コードがしっかり接続されていない。</li> <li>● 出力レベルが低すぎる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ▶/  キーを押す。</li> <li>● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 </li> <li>● ディスクを取り換える。</li> <li>● しっかりと接続する。</li> <li>● リモコンの <b>OUTPUT (UP/DOWN)</b> <small>アップ ダウン</small>キーで出力レベルを調節する。 </li> </ul>
音とびがする	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクがひどく汚れている。</li> <li>● ディスクに傷がついている。</li> <li>● 本機に振動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● "ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 </li> <li>● ディスクを取り換える。</li> <li>● 振動のない場所に設置する。</li> </ul>
電源を入れると再生が始まってしまう	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスクが入っているときに電源を入れると、本機は自動再生します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動再生しない場合は、電源を切る前にディスクを取り出す。</li> </ul>

## リモコン部

症 状	原 因	処 理
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池切れ。</li> <li>● 操作する位置が遠すぎる、角度がずれている、または障害物がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しい電池に入れ換える。 </li> <li>● 操作範囲内で操作する。 </li> </ul>

# 定格

DPF-3010 (J)

## [規格]

型式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム  
読み取り方式 ..... 非接触光学式読み取り(半導体レーザー)

## [D/Aコンバーター]

D/Aコンバージョン ..... 1ビット  
オーバーサンプリング ..... 8fs (352.8kHz)

## [デジタルオーディオ特性]

周波数特性 (EIAJ) ..... 4 Hz~20 kHz  
S/N比 (EIAJ) ..... 100 dB以上  
ダイナミックレンジ ..... 95 dB以上  
全高調波ひずみ率 (EIAJ) ..... 0.006%以下 (1kHz)  
チャンネルセパレーション (EIAJ) ..... 95 dB以上 (1kHz)  
ワウ・フラッター (EIAJ) ..... 測定限界以下  
出力レベル/インピーダンス  
可変 ..... (最大) 2.0 V/0.8 k $\Omega$   
ヘッドホン出力  
可変 ..... (最大) 20 mW (32 $\Omega$ )

## [電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 ..... AC 100V 50Hz/60Hz  
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) ..... 10W  
最大外形寸法 ..... 幅 440 mm  
高さ 95 mm  
奥行 370 mm  
質量 (正味) ..... 4.3kg



1. これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い(0℃以下)の場所では、十分な性能を発揮できないことがあります。

## 保証書 (別途添付)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。  
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。

(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください)

## 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通省産業省の指導によるものです。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## シリアル番号について

システム商品の各機器に製造シリアル番号がつけられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 出張修理 / 持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名 .....
- 製造番号 (Serial No.) .....
- お買い上げ年月日 .....
- 故障の症状 (できるだけ具体的に) .....
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください) .....
- お名前、電話番号、訪問ご希望日 .....

## 修理料金の仕組み (有料修理の場合は、つぎの料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費や、一般管理費等が含まれます。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金および通行料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ( )

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9 (ケンウッド青葉台ビル)

(大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)